



高橋 八重典 議員
大栄会

問 防災先進地から学べ

答 自助・共助の普及啓発を進める

問 岡山県瀬戸内市「行政と自主防災活性化の取り組み」の視察より以下を問う。

答 最新の自主防災組織数・組織率は。

問 自主防災組織の活動把握は。

答 活動している団体は平均6.7割。

問 「防災のきっかけづくり」本市では。

答 大学教授などによる講話、出前講座やコミュニティ防災訓練、防災ワークショップを開催。

問 「防災リーダーの育成」本市では。

答 年一回、海部地区防災リーダー養成講座を実施。

問 「シナリオのない発災対応型実働訓練」の予定は。

答 先進事例を参考に調査研究していく。

問 大学など専門分野から防災アドバイザーを導入す

る予定は。

答 県や名古屋大学減災連携研究センターと連携。今後の課題と考える。

問 市長の総括は。

答 3月に津波ハザードマップを全世帯へ配布。市民と一緒に自助・共助の普及啓発を進めていく。

問 市民プールの未来は

答 水泳・体育協会などと今後を検討

問 市民プールは築何年か。また稼働日数と利用者数は。

答 築38年。29年の稼働日数54日。利用者は延べ2023人。

問 年間の維持管理費は。

答 600万円超。

問 中学校授業での利用日数は。

答 16日。

問 弥富北中のプール修繕費と来年度以降の予定は。

答 約2千万円。当面、市民プールの使用を継続。

問 市民プールの修繕費用は。

答 ドーム部分の取り換えに約1億円。

問 今後、中学校授業でのプールはどうするか。

答 中学校3校と調整し、十四山中のプール使用となる。



▲市民プール (前ケ須町)

問 健康都市宣言と中学校のプール問題を含め存続の考えは。

答 利用状況、費用対効果などの観点で議論している。

問 経費面から、民間を誘致しての市民プールの考えは。

答 指定管理者制度を含め検討していく。

問 市民プールについての総括は。

答 水泳協会・体育協会などと検討。また、飛鳥村の温水プール利用も含め協議していく。